

福祉

（高齢・介護・障がい）の窓

ご存じですか。

介護保険の

施設サービス

要介護1～5の方は、在宅での生活が難しくなった場合、希望により施設に入所して介護サービスを受けることができます。

介護保険で利用できる施設サービスは次の3種類があり、生活介護が中心か、介護よりハビリが中心か、医療が中心かなどによって入所する施設を選択します。
※要支援の方は、施設サービスが利用できません。

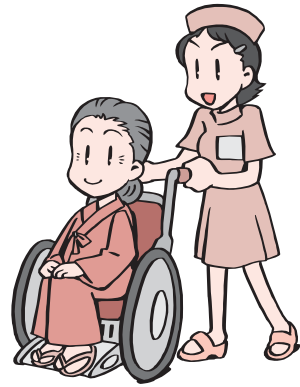
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

老人福祉法に規定する特別養護老人ホームで、常時介護を必要として在宅での生活が困難な高齢者を入所対象とした施設。食事や入浴、排せつなどの日常生活の介助、機能訓練、健康管理などが受けられます。

《市内の施設》

●特別養護老人ホーム緑風園（中登別町253-17・☎30333）

介護老人保健施設（老人保健施設）
病状が安定期にある高齢者が入



所対象で、在宅生活への復帰を目指したりハビリに重点を置いた施設。医学的な管理のもとでの介護や機能訓練などが受けられます。

《市内の施設》

●介護老人保健施設グリーンコー
ト三愛（中登別町24-113・☎0111）

介護療養型医療施設

療養型病床群などを持つ病院・診療所で、病状が安定期にあり、長期療養を必要とする高齢者を入所対象とした施設。療養上の管理や医療、看護などが受けられます。

《市内の施設》

●医療法人三樹園会登別中央病院（青葉町34-9・☎1000）
●医療法人社団楽生会皆川病院（中央町3丁目20-5・☎111）

▼問い合わせ 高齢・介護グループ（☎5720）

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち

Group

登别人物デッサンサークル

『登别人物デッサンサークル』は、平成10年から続いてきた『登别人物デッサンサークル』が解散したのを機に存続を希望する会員によって、新たな会員を加え平成15年に結成しました。

会員は、初心者からベテランまでの22人。毎月第2・4水曜日の13時から15時まで、鉄南ふれあいセンターで、赤谷良文さん（道展会員・登別美術協会会員）の指導を受けながら、デッサンについて学んでいます。

「あらゆる絵画の基本となる『デッサン』の技術向上を目指して、人物モデルはもちろんのこと、石こうのデッサンなども学んでいます。年1回は、裸婦デッサン会も開催しています」と話すのは、代表の田村きん子さん。

「会員の中には、登別美術協会



絵画の基本『デッサン』を学んで、技術向上を目指します



会員の上級者もいますが、全くの初心者でも先生の親切な指導を受けることができるので、興味のある方はぜひ一度、気軽に見学に来てください。デッサンは、スケッチブックと鉛筆があれば始められます」と田村さんは、入会を呼び掛けていました。

今年3月に入会したばかりの岩佐久子さんは、「別の絵画サークルで絵は習っていましたが、人物デッサンには以前から興味を持っていて、友人から誘われたのをきっかけに入会しました。今はまだ先生に基礎を教わっている段階ですが、早く人物デッサンをしてみたいですよ」と意欲的に話してくれました。

入会を希望される方は、幹事の山崎さん（☎1280）までどうぞ。